



《報道発表》

2012年8月21日（火）
株式会社ボーネルンド

国が取り組む初の「被災地における遊び場整備事業」に参加 復興庁主催「子どもの遊び場づくり」イベント運営業務を受注 ～10月6日（土）から8日（月・祝）、岩手県釜石市に当社プロデュースの遊び場が登場～

子どもの健全な成長に寄与することを目的に教育玩具の輸入・開発・販売を行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、復興庁岩手復興局が主催する「子どもの遊び場づくり」イベント運営業務を受注しました。10月6日（土）から8日（月・祝）の3日間、岩手県釜石市の「中妻体育館」にて、子どもたちが体を動かして楽しむことのできる屋内遊び場を企画・運営します。国家機関が被災地支援の一環として子どもの遊ぶ環境を整備する事業を直接実施するのは、今回が初めての取り組みとなります。

本業務は復興庁の「民間企業等と連携した子どもの遊び場作りモデル事業」として実施されます。昨年発生した東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手県沿岸部では、仮設住宅が公園や学校の運動場に建設されるなど、子どもが自由に遊ぶことのできる場所が不足しています。こうした現状を受けて開催される今回の「遊び場づくり」イベントでは、年齢や発達段階別に多様な楽しみ方のできる室内遊び場を、体育館の約650㎡の敷地内に設置し、沿岸部に住む子どもたちに、心も頭も体も解放して存分に遊ぶ機会を提供します。また、イベントを契機に、①参加者に対するアンケート調査を実施し、子どもを取り巻く環境におけるニーズを抽出、実施可能な施策を検討すること ②今後の子どもの遊び場づくりに関する支援について復興庁で需要と供給のマッチングを図り、より効果的な子ども支援を展開していくことの二点も、大きな目的としています。

当社は、東日本大震災の発生以降、「どんな環境においても、子どもには遊ぶことが必要であり、遊びを保障することが大人の役割」との考えから、原発事故の影響で外で遊ぶことが困難となっていた福島県を中心に、室内遊び場イベントや常設室内遊び場のプロデュースを行ってきました。こうした被災地における子どもの遊びを保障する取り組みや、当社が全国14ヵ所で運営する親子の室内あそび場「キドキド」の実績、また本イベントに関する提案内容が高く評価されたことから、本業務の受注にいたりました。本業務において当社では、イベントに係る総合企画・調整、参加者へのアンケート調査・調査結果の集計などを実施します。

「あそびを通して子どもの健全な成長に寄与すること」を事業目的とする当社として、被災地の子どもの遊び環境を整備することの重要性を国の機関である復興庁に認識いただいたこと、そして「遊び場整備事業」のパートナーに当社を選定いただいたことを、大変うれしく思っています。これまでに当社が培ってきた遊び環境開発のノウハウを最大限に活かし、子どもたちに楽しい思い出を作ってもらうとともに、今後、恒常的かつ効果的な子ども支援に繋げることができるよう、本イベントの成功に向けて全力で取り組んでまいります。



設置予定の遊具例：（左）サイバーホイール （右）エアトラック

復興庁主催「子どもの遊び場づくり」イベント概要

- 開催場所 釜石市中妻体育館（岩手県釜石市中妻町 1-6-8）
- 施設面積 約 650 m²
- 対象年齢 0歳～12歳（大人も子どもと一緒に楽しめます）
- 実施期間 10月6日（土）～10月8日（月・祝）10：00～17：00
- 利用料金 無料
- ※事前登録制、登録方法は詳細が固まり次第お知らせします
- 内 容 大型遊具コーナー（サイバーホイール、エアトラック、ボールプールなど）
おままごとコーナー（キッチン家具、汽車ジオラマテーブルなど）
組み立てあそびコーナー（ソフトブロック、磁石ブロックなど）
ベビーコーナー（0～18ヶ月の赤ちゃん専用コーナー）

（ご参考）ボーネルンド 被災地における室内あそび場づくりの主な取り組み

- 元気なこおりやま 夏のキッズフェスタ(2011年8月26日～28日)
郡山市、教育委員会、医師会で組織された「郡山市震災後こどもの心ケアプロジェクト」と連携し、郡山駅近くの市営施設に 500 m²の室内遊び場を提供、3日間で 1600 人の子どもが訪れました。
- ペップキッズこおりやま（2011年12月23日～）
「夏のキッズフェスタ」の成功を受け、スーパーマーケットチェーン「ヨークベニマル」が空き店舗と資金を提供して誕生した親子向け複合施設。ボーネルンドは室内遊び場の全面的なプロデュース、施設デザイン、あそび場運営指導、スタッフ研修を担当しました。開館以来、市内外から多数の親子が訪れ、今年7月には入場者数が 20 万人を超えるなど、今では地域に不可欠なあそび場になっています。
- わんぱくひろば みゆうみゆう（2011年11月23日～）
いわき市観光物産センター「いわきら・ら・ミュウ」の津波で流されてしまった 1 階部分 150 坪を、室内遊び場にリニューアル。あそび場の総合プロデュース、スタッフ研修、運営指導を行いました。海を連想させるあそびを多数配し、地域住民だけでなく、観光に訪れた親子連れも多数集う人気施設となっています。



【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 84 ヲ所で直営店舗を運営しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万カ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。現在全国 14 箇所、年間 141 万人の親子が訪れています。

≪報道関係の方のお問い合わせ先≫	
株式会社ボーネルンド 広報室 担 当：村 上 T E L：03-5785-0860 / 080-5901-3591 E-mail：y-murakami@bornelund.co.jp	株式会社プラップジャパン 担 当：古澤、五味渕、山口 T E L：03-4580-9104 E-mail：bornelund@ml.prap.co.jp
≪一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）≫	
株式会社ボーネルンド TEL：0120-358-518	